

7. 2005年度日本数学会賞春季賞， 出版賞の授賞について

【春季賞】

選考委員会での審査の結果に基づき，東京大学大学院数理科学研究科の辻雄氏が
 p 進ホッジ理論の研究
に関する業績により賞に選ばれました．3
月28日年会会場で授賞式並びに同氏による
 p 進 Hodge 理論 の記念総合講演が行われ
ました．

【出版賞】

数学通信 9 巻 3 号で日本数学会出版賞の
推薦を求めましたが，13 名の方から推薦が
ございました．これら推薦された対象につ
いて出版賞選考委員会で検討を行い，その
結果を理事会で確認の上，次の 5 組の方に
出版賞を差し上げることに致しました．

楠葉隆徳氏，林隆夫氏，矢野道雄氏

授賞理由：これまであまり詳しく知られて
いなかった内容を，初心者にも配慮しつつ
高度の専門書「インド数学研究」で紹介し，
数学の研究・教育・普及に大きく貢献され
ました．

岡部恒治氏，戸瀬信之氏，西村和雄氏

授賞理由：学力低下に関して著書「分数が
できない大学生」により極めて効果的に問
題提起し，数学教育を巡る議論の発展に大
きく貢献されました．

志賀浩二氏

授賞理由：数多くの数学啓発書の執筆およ
び編集により数学の研究・教育・普及に大
きく貢献されました．

亀井哲治郎氏

授賞理由：編集者として，数学の面白さを
伝えることにより数学の裾野を広げ，また
数学の最前線を一般に判り易く紹介し，数
学の研究・教育・普及に大きく貢献されま
した．

小川洋子氏

授賞理由：著書「博士の愛した数式」によ
り数学の魅力を判り易く紹介し，数学の普
及に大きく貢献されました．

なお，今回は第 1 回の出版賞であったた
め，推薦された一部の対象については，次
年度に選考を持ち越すことになりましたこ
とを付記します．

(前理事長 森田康夫記)